

MIC

情報通信 vol.41

(2013年7月発行)

Intertek

M
MOODY
INTERNATIONAL

発行

ムーディー・インターナショナル・
サーティフィケーション株式会社
大阪事務所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14
住友生命新大阪北ビル13F
Tel:06-6150-0571 Fax:06-6150-0575

◇ MIC情報通信のバックナンバーは弊社ホームページ
(<http://www.moodygroup.co.jp>)でご覧頂けます。

CONTENTS

1 お客様のお客様

2 特集

3 ISO14001を元気にする (1)

4 MICニュース

- 丸憲様 南大東島の漁港整備工事で
水産庁長官賞受賞
- ISO39001道路交通安全マネジメント
システム 審査サービス開始
- Q&A

5 審査の現場から

- お客様紹介
(石川県庁)

6 連載よみもの

- MICリレーエッセイ
「栃木県だより」
(審査員 梅田 裕)
- 環境よみもの
「環境とISO14001」

7 お客様からのお便り

- 「セキュリティソフトの開発」
(株式会社ハイパーテック)
- 「更なる掘削技術サービスの提供に
向けて」
(帝石削井工業株式会社)

8 研修コースのご案内

- ちょっといっぱく
- コースのご紹介/受講生からのお便り

お客様のお客様

総務経理部 部長 小池 正行

インターテックとの統合から二年あまりが経過しましたが、みなさまには引き続き弊社をご支持いただき誠にありがとうございます。今回は、私が日ごろ仕事をする上で考えていることをご紹介させていただければと存じます。

「お客様に満足してもらうためには、『お客様のお客様』のことを考えて仕事をするのがサービス業にとってはとても大切」、ということを実験前に学びました。『お客様のお客様』というのは耳慣れない言葉かと存じますが、これは、直接対応している目の前のお客様のことだけではなく、その先のお客様(『お客様のお客様』)が自分のお客様に対して期待していることを考えながら仕事をする事で目の前のお客様にも満足していただける、ということの意味しています。

私の役割に置き換えてみますと、総務経理は、言わば社内向けにサービスを提供する業務ですので、目の前のお客様は弊社の社員になります。つまり、私にとって『お客様のお客様』とは言うまでもなく弊社のサービスをご利用いただいている組織のみなさまに他なりません。そのみなさまが弊社に対して期待されていることを考えながら業務を進めることが、自分のお客様を大切に思うことにつながると考えております。では弊社に対するみなさまのご期待とは何でしょうか。その一つは「(みなさまの)付加価値の向上につながる高品質な審査を将来にわたり安定的に提供してほしい」ということだろうと、私は考えています。そのご期待に自分の仕事を通して対応できることの一つが、弊社を健康な状態に維持することです。健康に不安があると個人でも持っている力量を十分に発揮することができません。会社も同様に健康(財務状況)に不安があっては質の高いサービスを提供し続けることは難しいでしょう。

「売上はマーケットの支持率、利益は社員の智慧」という喩えを聞いたことがあります。日ごろの審査や営業等に対して弊社をご支持いただけるか否かは、最終的にみなさまのご評価に委ねざるを得ません。しかし、その支持率(売上)とのバランスをモニターしながら支出を管理することで利益を生むのは社員の智慧しだいです。もちろんそれには総務経理という部門だけでなく、全社員の智慧を結集することが大切です。その結果、私の『お客様のお客様』であるみなさまの成功とともに、弊社も健康増進できれば何よりの喜びです。

ISO14001を元気にする (1)

MIC環境主任審査員

郷古 宣昭

ISO14001を長年運用されている組織の中には、活動がマンネリ化して活用法に悩んでいるところはないでしょうか。一方、サプライチェーン管理の重要性が叫ばれるようになった今日、第三者認証の重要性は益々高まってきています。なぜマンネリ化するのか、どこに問題があるのか、どうすれば活気を取り戻すことができるのか、特にマネジメントシステムの運用面に焦点をあてて、2回にわたって考察してみます。

そもそもISO14001の役割は何か

ISO14001がどのような経緯で成立したのか、その歴史的背景を知ることによりISO14001が担う役割を知ることが出来ます。2つの流れから考察します。

- ① ISO14001は、国連の「持続可能な開発のための経済人会議」が環境ISOの作成を要請し、「国際標準化機構」がリオの地球サミットの席上でその作成を宣言することが契機となって策定されました。地球環境への強い懸念の中で生まれた事業者向けの環境保全活動の規格であり、従って、地球環境・地域環境に役立つ事が要求されていることは明白です。
- ② 欧米では古くから事業主が外部コンサルタントに法規制順守及び環境リスクに関する監査を行わせる習慣がありました。これは事業主にとっては有効な「リスクの管理」の手段でした。米国の環境保護局はこれに目を付け、監査を受けた事業主に一定の法的便宜を与えました。このことは、「監査を通して被監査組織が法規制順守や環境リスクを管理する能力があることを示す」という認証制度のスタイルが芽生えていたと言えます。現在のISO14001の役割はマネジメントシステム規格の第三者認証審査機関に対する要求事項ISO/IEC17021の「審査目的」に示されています。(表1参照)

審査員から見た問題点とは

マンネリ化したマネジメントシステムの持つ問題点は、前項に記載の期待された役割を十分に果たしていないという事に尽きます。下記の3点に問題がありますが、これらは互いに関連しあっている事項です。

① パフォーマンスが小さいこと

パフォーマンスとは「(数値で表わされる)活動の成果」で

あり、事業及びその関連活動による環境影響データということになります。

「運用開始当初は紙、廃棄物、電力で成果を出していたが、今は行き詰まり、何を目標に取り上げたらよいかかわからない」という声をよく聞きます。この状態では環境貢献が小さいために社員の士気が上がらないし、コスト削減に繋がらないために経営者は、システムの継続は意味がないと判断するかもしれません。

② 取り組むテーマの範囲が狭いこと

目標や維持管理、緊急事態対応として取り組むテーマは特定された環境側面から選択しますので、環境側面を特定する範囲をどこまで見ているかで取り組む対象の幅が決まります。規格(ISO14001)は活動のみならず製品及びサービスに関する側面、直接管理できる側面のみならず、影響を及ぼしうる側面の特定を求めています。サービスとは調達、輸送等の支援活動を意味しますが、製品を含め顧客、供給者、請負者からの環境影響が含まれることに留意する必要があります。

規格の附属書A.3.1には、「請負者及び供給者の環境パフォーマンス」「製品の流通、使用及び使用後の処理」「原材料の採取及び運送」が示されていますが、これらを追跡調査して環境負荷や行動を把握している組織は少ないように思います。現在、「紛争鉱物」「違法木材」の採取現場では大規模な自然破壊が起きていて世界的に問題になっています。一方、製品、成果物の環境調査も十分とはいえず、環境影響が大きいにも拘らず具体的な検討がなされないため、環境配慮製品／サービスの提案に結びついていません。そのため顧客や発注者からの評価を得るチャンスを逃している可能性もあるように思います。

原材料の採取現場から消費者に至るチェーンの様々な段階から環境側面が特定されていないのは、環境側面の捉え方が狭いためと思われます。

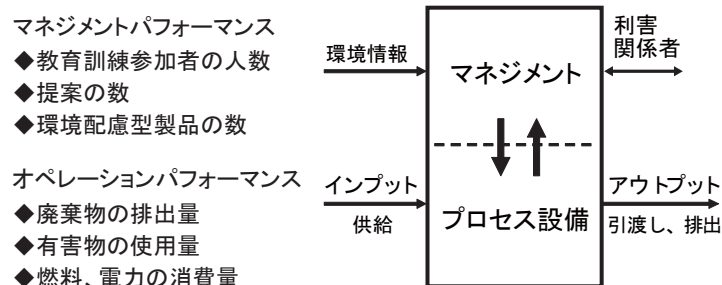
表1

ISO/IEC17021:2011に定められた審査の目的

- 審査基準への適合の決定
- 該当する法規制、契約上の要求事項を満たす能力の評価
- 目的・目標を継続して満たすことを確実にするためのマネジメントシステムの有効性の評価
- 潜在的な改善の領域の特定

図1

2種類のパフォーマンス



③リスク管理が不十分なこと

ISO14001で取り扱うリスクとして、(イ)法規制違反のリスクや(ロ)設備の不具合や操業の異常で有害物を流出するリスクがあります。マンネリ化に陥っている組織では、例えば廃棄物処理法が毎年改正されているのにうまく追従できないこと、4M(人、設備機械、方法、原材料)変更に伴う環境リスク管理が確立していないこと等が気になります。

そもそも、緊急処置の手順には現場の設備配置、ノズルの位置、操作パネル、地勢、近隣状況などが反映されてないものが多く、緊急事態発生時に本当に役立つのか不安があります。

パフォーマンスを向上させる

①効果的なマネジメントパフォーマンスを目標に据える

図1に示すように2種類のパフォーマンスがあります。一つはオペレーションパフォーマンス(OP)で組織の設備・機械の操業から生ずるパフォーマンスであって、直接、地球環境・地域環境に影響を与えます。他の一つはマネジメントパフォーマンス(MP)でマネジメントから生ずるパフォーマンスであって、OPに影響を与えます。故に、OPを向上させるためにはMPを効果的に高める手段を考えて、実行することが重要です。

②パフォーマンスを重視してPDCAを回す

パフォーマンスを重視してPDCAを回すとは以下のようなことです。

方針: 環境方針にパフォーマンス向上のコミットメントが含まれている

目標: 活動の結果がパフォーマンスの向上につながっている

運用管理: 目標達成の手順がパフォーマンスの向上を目指している

内部監査: 計画通りのパフォーマンスが出ているかを監査している。目標達成に向けて各プロセスが有効に働いているかを監査している。

マネジメントレビュー: 環境パフォーマンスがインプットされ、パフォーマンスの向上を確認している。パフォーマンスの向上が認められない部分の処置と次の計画をアウトプットしている。

③省エネを見直し、再チャレンジする

3.11震災後、東北・関東の企業の一部は電力会社の節電要請を受けてピーク時電力の削減やトータル電力の削減に取り組み、極端な生産体制の変更や操短をすることなく、ムダの排除と様々な工夫で多くの企業が目標を達成しました。削減要請を受けなかった地域でも、本気で取り組むことでかなりの成果が期待できるように思います。ムダがないか、特に下記について確認しましょう。

- － 効率の悪い電気炉はガス炉に換えられないか
- － 冷却水の定温保持に冷凍機が必要か、冷水塔に換えられないか
- － 圧縮空気の圧力は下げられないか、圧縮空気の乾燥機は必要か
- － 機械の慣らし運転は長すぎないか、非生産運転(空運転)はないか
- － 太陽光発電、太陽熱温水器、グリーンカーテンは可能か

今回は、時代に対応する環境側面の特長／評価法の紹介とリスク管理について述べます。

筆者紹介

郷古 宣昭 (ごうこ のぶあき)

MIC環境主任審査員。
三菱化学株式会社を経てMICへ。化学、プラスチック専門。
ISO9001/ISO14001/OHSAS18001主任審査員、ISO14001/OHSAS18001審査員コース・内部監査員コース主任講師。

丸憲様 南大東島の漁港整備工事で水産庁長官賞受賞

MICのお客様、株式会社丸憲様(沖縄県那覇市・南大東村、代表者:末吉繁政氏)は、南大東島の漁港整備事業の功績が認められ、平成25年度漁港漁場関係事業優良請負業者として、5月に水産庁長官賞を受賞されました。

離島県、沖縄において国土保全・生活・経済の発展、漁村振興として重要な南大東島において1988年から掘削工事を始め、漁港道路や防波堤工事を担当されています。南大東漁港は、掘り込み式としては国内最大級の漁港で、2000年から一部供用が開始されていますが、現在も防波堤の建設工事が続けられています。

このような難易度の高い工事をされるにあたり、自社の経験や高い技術力が発揮されたこと、また、組織的取り組みとしてISO9001を長年運用され、さらに2010年にはISO14001も取得

されて、末吉社長、比嘉常務、松田工事部長様のリーダーシップの下、工事に対する誠実さや品質面・環境面等でも技術力を大きく発揮されたことが受賞に繋がったのでしょうか。今年創業40周年を迎えられた丸憲様の更なる活動展開が期待されます。



表彰式にて:末吉社長(前列左)、本川水産庁長官(右)

ISO39001 道路交通安全マネジメントシステム 審査サービス開始

世界における道路交通事故死亡者は毎年約130万人と推定される中、2012年10月、道路交通事故による死傷者を減らすことを目的とした国際規格、ISO39001:2012 道路交通安全マネジメントシステム(Road Traffic Safety Management System)が発行され、国内においても様々な業種による組織で認証運用の関心は高まっております。

導入メリットとしては、「自動車事故、保険料削減によるコスト削減」「事故による操業機会損失の低減」「人命尊重、社会貢献、従業員・顧客満足度向上」等となります。また、認証対象業種は、道路に関する組織すべてであり、「乗客・貨物運送事業者」「営業・社用車の所有組織」「道路設計・施工、安全装置設計・製造組織」等が例としてあげられます。

MICでは今春より認証サービスを開始し、各主要都市で開催した無料説明会には多くのお客様にご参加頂きました。

規格の概要や審査の流れ等のご相談は、東京本社RTSMS認証部までよろしくお願い致します。



ISO39001無料説明会風景

Q&A

Q

ISO9001を取得して数年が経ち社内でも浸透してきましたので、今度はISO14001の導入を検討しています。来年のISO9001の維持審査からISO14001と一緒に受けるにはどのような手順や手続きで進めていけばいいのでしょうか？

Answer

ISO9001とISO14001など、複数のマネジメントシステムを同時に審査することを複合審査と呼んでいます。複合審査では、ご質問のケースのような取得済み規格の維持審査や更新審査と、新規取得の初回認証審査を最初から同時に行うことはできません。まずはISO14001を新規認証して頂き、2年目以降から複合審査にて受審頂くことになります。ただ初回審査では複合審査にはなりません、ISO9001の審査の前後に初回認証審査を組み合わせで連続審査で行うことは可能ですので日程については事前にご相談ください。

複合審査をご希望の場合、システム及び運用の複合の度合いを確認させて頂く為の調査書をお客様より事前にご提出頂いております。調査書の内容により、別々で受ける審査の重複部分をまとめることで、審査工数が短縮され審査料金にも反映される場合もございます。

また、すでにISO9001とISO14001を別々の時期に受けられているお客様で複合を希望される場合は、ISO9001かISO14001のどちらかの審査時期に合わせるようになります。更新時期についても、先に3年の更新を迎える規格に合わせて両規格とも更新することになりますので考慮が必要です。また前述の例に限らず、ISO27001やOHSAS18001といった他規格との複合審査も可能です。

尚、複合審査では、共通項目が同一システムの中で管理されていることが必要です。マニュアルが一つであったり認証範囲が全く同一であることは必須要件ではありませんが、システム及び運用が統合されていることが前提となります。以上につきましてご質問やご不明な点等ありましたら、営業部までお気軽にお問い合わせください。

石川県庁 様

ISO14001:2004 認証登録

MIC審査員 美濃 英雄 Hideo Mino



石川県庁様は、平成16年にISO14001を認証取得され、平成23年にMICへ審査機関を変更されました。適用範囲には、行政庁舎、議会庁舎、警察本部庁舎、保健環境センター、工業試験場などが含まれ、対象人員は2700人を超えています。今回の審査では、トップインタビューに環境担当の竹中副知事が参加されました。

同県の環境方針は、平成14年12月に策定され、平成17年3月に策定した「石川県環境総合計画」の趣旨を踏まえ、平成17年6月に改正されています。現行の環境方針では、「環境への負荷の少ない循環を基調とした持続可能な社会の構築」と「自然と人が共生する社会の構築」を基本理念に、「県が行う各種の事務事業を通じた環境水準の保持・改善」、「環境学習、情報提供、普及啓発等を通じた県民、事業者の環境に配慮した行動の推進」、「県庁の組織の事業活動における廃棄物の減量、リサイクル、省資源・省エネルギー、グリーン購入の推進等の環境に配慮した実践行動の徹底」を基本方針とされています。

環境方針を踏まえ、平成24年度には113の環境目標を設定されていますが、具体的な取組みをいくつかご紹介します。

石川県の特徴的な自然環境の一つに里山里海があります。里山里海は、県土の約6割を占め、人々の暮らしと深いつながりを持つ身近な自然環境であり、多くの生きものの生息空間ともなっています。しかし、近年、過疎高齢化の進展等により、里山里海地域では、かつての環境が失われつつあるそうです。

そのため、多様な主体がその保全に参画する仕組みが必要であると考えられ、企業、地域団体、NPO、学校等が行う里山里海保全活動等を県が認証する「いしかわ版里山づくりISO」制度を創設、平成25年3月末現在で169団体を認証されています。

平成23年6月には、「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定されました。これは、能登が地域に根ざした里山里海が集約された地域であり、その総合力が国際的に高く評価されたことによるものです。

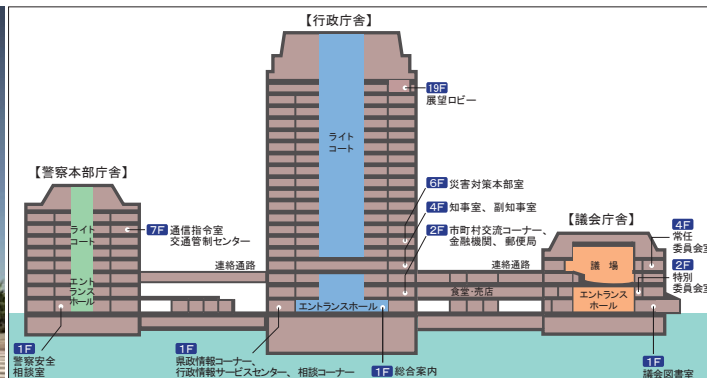
「能登の里山里海」に関する情報をはじめとした各種環境情報をホームページ等で積極的に発信される一方、環境施策の推進のため、関係部局による連絡会議を開催される等内部コミュニケーションも高められています。

また、再生可能エネルギー固定価格買取制度の開始を受け、その周知を図るため、制度内容や発電事業の実施に向けた留意点等についての説明会を開催されました。県内でも民間企業の太陽光発電事業への参入等に向けた動きが加速しており、今後、再生可能エネルギーの導入が促進されていくものと考えられています。

東日本大震災後には、全国的な電力需給の逼迫が見込まれたことから、北陸電力管内でも政府から節電への協力が求められました。これを受け、県施設においても空調運転時間の30分短縮等、率先して節電に取り組まれました。

今後とも環境目標の達成に向けて、県庁各部局が連携して取り組まれていかれることでしょう。

石川県庁舎


<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/>

MICリレーエッセイ ③⑨

審査員からのエッセイをお楽しみください。



From 栃木県日光市
梅田 裕
(うめだ ゆたか)



PROFILE

専門分野 ISO9001 - 建設、金属加工、エンジニアリング、機械機器、設計・開発、情報処理、教育、法律・行政、経営コンサルティング

経歴 日本鋼管、株式会社ミサワホーム総合研究所、MIC審査員(現職)

「栃木県だより」

私が住む栃木県は、全国47都道府県中一番印象の薄い県だそうです。住めば都です。県庁所在地は宇都宮と言いますが、人口50万の北関東有数の街で、餃子が名物です。おすすめは正嗣(マサシ)という店で、ラーメン店の様な店舗に焼き餃子と水餃子しかメニューが無い!というのが特徴です。どちらも6切れで230円!安いから「焼2、水1」などと頼みます。食すると何となく幸せな気持ちになります。

宇都宮の周りに南北10キロ東西6キロの環状道路が走って、街の動脈になっています。東京の環状7号線と同じ規模で、東京はその界隈に1000万人、宇都宮は50万人なので、土地の使い方が実にゆったりしています。街の東を鬼怒川が流れますが、水面の青白さは心を打つ美しさで、水質に関しては上乗せ条例もあるくらい絶対の自信があります。水戸が河口の那珂川の源流もこの近くにあり、サケ

が産卵のため上がってきます。御料牧場や新旧御用邸が点在し、庶民の生活圏と共生しています。緯度は北陸金沢とほぼ同じで、やや寒冷気候ですが、大きな災害の少ない県です。

日光市は面積1500km²で東京都全体とほぼ同じ広さです。徳川家康を祀った東照宮や華嚴の滝、中禅寺湖が有名です。人間より野生動物の方が圧倒的に多い街?でもあります。

連載「環境とISO14001」③⑨

第39回「新CSRの影響/ISO26000」

MIC環境主任審査員 郷古 宣昭 Nobuaki Goko

過去4回にわたって、CSR(企業の社会的責任)の新しい潮流について概説してきましたが、今回はその総集編です。

1. これまでの説明(記事)概要

情報誌vol.37では「CSRの新潮流」の要点を説明し、環境に関連が深い喫緊の問題として「紛争鉱物」(vol.38)、「違法木材」(vol.40)を採り上げました。他に、ウズベキスタンの綿花やガーナのカカオも問題になっていて、環境だけでなく児童労働、強制労働などの人権・労働問題を伴う傾向があります。世界の児童労働の状況については、NGO ACEのホームページに詳しく出ています。(http://acejapan.org)

人権問題についてはラギーレポートが知られており、vol.37「CSRの新潮流」で紹介していますが、国家に人権保護のための介入、企業に人権尊重を基軸とした経営戦略の表明を促したこと、被害者の救済方法を具体的に示したことで画期的な意義を持つもので、これはそのまま国連のビジネスと人権に関する指導原則『保護、尊重及び救済』枠組み』として発表され、ISO26000にも反映されています。これは「一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター」からダウンロードできます。(http://www.hurights.or.jp)

ISO26000についてもvol.37「CSRの新潮流」に記載しておりますが、社会的責任実践の手引書として2010年11月に発行されました。ISO26000の包括的目標は「持続可能な発展」であり、取り組むべき中核課題として①組織統治、②人権、③労働慣行、④環境、⑤公正な事業慣行、⑥消費者課題、⑦コミュニティ参画及び開発です。それらの実行に当たっては7つの原則(i 説明責任、ii 透明性、iii 倫理的な行動、iv ステークホルダーの利害の尊重、v 法の支配の尊重、vi 国際行動規範の尊重、vii 人権の尊重)に従い、中核課題ごとに提示された課題を実行するわけです。この中でしばしば疎かになりがちなのがコミュニティへの参画、ステークホルダーの利害の尊重で、これについてはvol.39「コミュニティへの参画」で述べているように地域住民や地域のNPOと関係を構築しながら取りすすめる、効果の確認まできっちり実施することが重要です。

2. ISO26000の展開

ISO26000は認証取得を目的とするものではなく、CSR実践の指針ですが、多くの国で支持され、国際行動規範として定着しつつあるように思います。つまり、好むと好まざるにかかわらず、その組織の行動がISO26000を基準

に評価されることを意味しています。実際に、海外展開している企業はISO26000をベースに社内教育を始めていますし、CSR報告書を発行している企業はISO26000を基準に見直しをかけているところが多いようです。

取り組みテーマの中心はやはり環境、労働、人権であり、自社の活動においてはこれらの問題を発生させないことは勿論のこと、従業員や地域の問題に関与すること、供給者に対してはサプライチェーン管理に基づくリスク評価による問題の回避が求められます。また、それらの実行には世界人権宣言や国連子どもの権利条約、ILO条約等、国際規範が判断基準になります。

また、これらは海外進出企業だけでなく国内で活動している企業にも適用されます。某損害保険会社の問題企業リストには日本の企業の名も挙がっており、その多くは原材料を通しての人権問題であるとのこと。震災被災地での労働問題や高齢避難者への対応等に付いても問題になっているとのこと。

CSRの新潮流は世界の企業観を「私的所有」から「社会の公器」への変化を促すものであり、ISO26000はそのツールとして大きな役割を果たすことが期待されます。



お客さまからのお便り



セキュリティソフトの開発

株式会社ハイパーテック (ISO14001:2004 認証登録)
システム営業部 鶴衛 正紘

当社は、京都リサーチパーク内にある(公財)京都高度技術研究所に本社を置き、セキュリティソフトと、特許業務支援ソフトを開発・販売しています。情報産業分野での事業活動を通じた環境への取り組みとして、2002年にISO14001を取得しました。

当社が開発した「CrackProof」は、コンピュータプログラムへの攻撃(クラッキング)を防ぐセキュリティソフトです。これまでに“ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー®”など数多くの賞を受賞するなど、高度なセキュリティ技術に対して、お客様からも高い評価を頂き、銀行、家電メーカー、精密機器メーカー、ゲームメーカー

等さまざまな分野のセキュリティに採用されています。

また特許関連の製品には、弁理士事務所と共同開発した「パテチェッカー」や、家電メーカーと共同開発した「PatentEditor」などがあります。これらの製品は主にメーカーの知的財産部門や特許事務所でご利用頂いています。



ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー®2008
グランプリ受賞

▶ <http://www.hypertech.co.jp/>

更なる掘削技術サービスの提供に向けて

帝石削井工業株式会社 (ISO9001:2008 認証登録)
施設資材部長 橋本 文吾



地熱生産井の噴気試験

当社は、1949年に富鑿井工業株式会社(本社東京)として設立され、1955年に帝国石油株式会社(現、国際石油開発帝石株式会社:INPEX)の全額出資の子会社となり、

2012年4月にはINPEXの削井現業部門を統合し、石油・天然ガス井、地熱開発井の掘削を主要業務として、掘削技術サービスを提供しています。

1949年から2009年(60年間)の当社の掘削メーター実績では、日本の地熱発電所17箇所の内、11箇所ですく井を掘削し、その掘削坑数は調査井を54坑、生産井・還元井を147坑掘削し、掘削総延長は240,000mにも及びます。また、石油・天然ガス井等を含めれば総掘削坑数は578坑、掘削総延長は523,000m、平均掘削深度は900mで、この掘削総延長は、東京から新大阪までの距離に近いものとなっております。

INPEXの削井現業部門では、我が国最大の深部井となる深度6,310mの石油・天然ガス調査井の掘削記録を有して、これまで数多くの石油・天然ガス井を掘削しております。今般、統合したことにより、当社で掘削深度6,000mを超える深部掘削の施工が可能となります。

その他、学術研究に寄与する掘削工事としては、雲仙

科学掘削プロジェクトの火道掘削や二酸化炭素地中貯留実証試験井掘削、原子力発電所の耐震安全性を評価する深部地震動観測井掘削などを施工しており、これらの坑井に係る試験や機器開発も行っております。

総合掘削技術サービス会社として更なる顧客満足の向上に向けて2000年にISO9001の導入を決め、2001年8月に取得致しました。導入後は、品質方針に基づいた各階層での目標展開が明確となり、社内意識も更に高まりました。

「3.11 東日本大震災」以降、当社の取り巻く環境が大きく変化し、再生可能エネルギーの期待度が増す中、掘削技術サービス会社の姿勢を崩すことなく、『より安く・より早く・より安全に』を会社のモットーに、今後もその技術力の一層の向上を図ってまいります。



天然ガス噴出試験(試ガス)

▶ <http://www.teiseki-drilling.co.jp/>



7月に入りいよいよ夏本番、これから本格的な暑さがやってきます。夏バテ防止に土用の丑の日に鰻を食べるのは、今や夏の風物詩としておなじみですが、土用というのは実は夏だけではなく年に4回あります。土用とは、各季節の変わり目である、立春・立夏・立秋・立冬の直前18～19日間のことで、古代中国の暦法にあたる五行説から来ているそうです。五行説では、万物は木・火・土・金・水の5つのもので出来ているとされ、それを季節に割り当て（春＝木、夏＝火、秋＝金、冬＝水）、余った「土」を各季節の変わり目としました。それが土用です。そして丑とは十二支の丑のことで、年だけでなく、怪談によくある丑三時のように時間や月・日にも割り振られ、2番目の日が丑の日です。土用の間12日に一度丑の日が巡ってくるため、年によっては丑の日が2回くることがあり、今年の夏の土用の丑の日も7月22日と8月3日の2回になります。このように2回丑の日がある場合、最初の丑の日を一の丑、2回目を二の丑と呼びますが、大抵一の丑が取り上げられることが多いようです。

土用の丑の日に鰻を食べるようになったのは諸説あるようですが、江戸時代に活躍した平賀源内説が最も有名と言われています。もともと土用の時期には夏負けしないよう、土用じみ、土用餅、土用卵など、精のつくものを食べる習慣や、また丑の「う」から、うどん、梅干し、瓜など、「う」のつくものを食べるとよいとの言い伝えがあり、売上不振に悩んだ鰻屋から相談を受けた平賀源内が、店先に「今日は丑の日」と書いた張り紙を貼って宣伝し大繁盛したことが始まりとされています。ビタミン豊富で栄養価が高い鰻は、滋養強壮食品として昔から食され、万葉集には夏のスタミナ食として謳われていたそうですので、日本人には古くより馴染み深い食材でもあったということですね。今年2月に環境省が天然のニホンウナギを絶滅危惧種として指定し、また稚魚の不漁で鰻の価格上昇もみられるようですが、水産庁では安定供給のための対策に取り組んでいるそうです。2010年には世界初の鰻の完全養殖に成功したニュースもあり、大きな期待が寄せられています。また食べ物以外でも、丑の日に薬草を入れたお風呂に入る丑湯があるそうです。先人にならって夏場の疲労回復や体力維持に、お風呂やスタミナ料理でこれからの厳しい暑さを乗り切っていきたいものですね。

研修コースのご案内

内部監査員研修コース

マネジメントシステムの維持・改善のために必須の内部監査。その知識とスキルを身に付けます。これから導入を予定されている企業や、既に導入され更に効果的な運用を目指される組織の皆様方にもお薦めです。

● 内部監査員コース 9001/14001/18001/27001 (2日間)

【開催地】 東京・大阪・富山・金沢・新潟・福井・他

- 【対象者】 ●品質/環境/労働安全衛生/情報セキュリティマネジメントシステムの導入を予定/検討している
●システムをより効果的に運用したい
●効果的な内部監査を行いたい

審査員研修コース

審査員への最初のステップです。合格すると、審査員補になる資格が得られます。内部監査リーダーの方にもお薦めです。

● ISO9001 :IRCA認定 審査員研修コース (5日間)

● ISO14001:IRCA認定 移行型審査員研修コース (3日間)

【開催地】 東京

- 【対象者】 ●審査員のみで内部監査を行いたい
●内部監査グループのリーダーに任命された
●将来審査員を目指している

～ 受講生からのお便り ～

ISO9001:2008 内部監査員研修コースを受講して

品質内部監査員コース(2013年1月東京会場)受講
株式会社インサイト 森田 恵理子

当社、株式会社インサイトは、主に製薬会社向けのシステム設計、開発、保守を行なっておりますソフトウェア開発会社です。今回、熊本事業所から、参加させて頂きました。

ISO9001認証は取得しておりますが、個人としてはISOに関する事前知識もあまり無いため、受講前は少々不安もありました。しかし、実際に研修が始まってみると、監査現場を想定したロールプレイングで監査の流れを体験したり、また監査員としての心構えや行動規範などを解説して頂いたり、大変有意義かつ実践的な内容でしたので、受講前の不安も忘れ、楽しみながら学ぶことができました。

今回学んだ内容は、今後社内での内部監査員としての活動だけでなく通常業務の中での改善などにおいても役立てていきたいと思っております。最後になりましたが、講師の先生方、スタッフの皆様、一緒に学んだ他の受講生の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

ムーディー・インターナショナル・サーティフィケーション株式会社

http://www.moodygroup.co.jp/mic_index.htm

◇ 東京事務所 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-2 日本橋Nビル4F TEL:(03)3669-7408 FAX:(03)3669-7410
E-mail: mi-certification@moodygroup.co.jp

◇ 大阪事務所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル13F TEL:(06)6150-0571 FAX:(06)6150-0575
E-mail: mic-osaka@moodygroup.co.jp